

2013(平成25)年度 第29期事業報告書

自 2013(平成25)年4月1日
至 2014(平成26)年3月31日

公益財団法人 日中医学協会

はじめに

2013年度は公益財団法人日中医学協会としての最初の事業年度であった。

公益第2回理事会（2013.5.16, 第6号議案）において、「中国の著しい経済成長や内外の環境変化により、協会の役割が変わりつつあるのも現実であり、新しい時代に対応すべく、協会の持続可能な方策を探り、周年事業でそれを披露いたしたい」として、「協会設立30周年事業実行委員会（仮称）」の立ち上げについて承認した。

その後、7月26日開催の第234回常任理事会（公益第1回業務執行理事会）において、協会設立30周年事業実行委員会（仮称）は「日中医学協会のあり方検討委員会」として準備を進めることとし、何を検討目標とし、どのように委員会を構成すれば良いかについて検討の上、以下のことが決定された。

1. 財政基盤の確立からの検討

財政基盤の確立について、日本政府（経済産業省または内閣府）の成長戦略である「医療の国際化」事業の中国部分については、当協会が事業受託する地位を固めることを戦略目標とすることが考えられる。

一方、現行事業を拡充・進化させて助成の持続性を獲得し、事業を存続させる方向性も同時に重要である（日中笹川医学協力プロジェクト）。

2. 協会の目的（ミッション・ビジョン）からの検討

当協会は、当時の日中間の時代背景を踏まえて、1985年9月に設立された。しかしながら、中国の著しい経済成長や内外の環境変化により、その役割が変わりつつあるのも現実であり、新しい時代に対応すべく、当協会のさらなる成長と発展を現実のものとする方策を迫られている（2012年度事業報告書「はじめに」参照）。

当協会の目的を問い直し、課せられた使命を再構築し、この組織を「日本の宝」として内外にアピールすることは極めて有用なことと思われる（レギュラトリー・サイエンス等からのアプローチ）。

3. 組織の運営管理からの検討

当協会は、日中間の医療関連領域における「シンクタンク」として存在することが本来望まれる。

事務局体制強化のため、外部の官民産学機関との提携関係の構築を探り、事務局がどのような能力を実装すればよいか（重視すべき能力要素）を検討する。（ISO9004:2009（JIS Q 9004:2010）……組織の持続的成功のための運営管理等からのアプローチ）。

委員会委員は、上述1.の観点から、一般社団法人 **Medical Excellence JAPAN (MEJ)** にご関係の先生（MEJ：副理事長の近藤達也先生、理事の江藤一洋先生）及び国際保健・地域医療・中国衛生部方面から尾身 茂先生にお願いした。

また、アドバイザーとして医学会方面から高久史磨先生、中国国家人口計画生育委員会方面から林 謙治先生にお願いし、更に、「産」の方面から第一三共(株)の庄田 隆代表取締役会長（当協会評議員、第3回本委員会から）にお願いした。

委員会の任期、開催頻度は以下の通りである。

1. 任 期：2013年8月から2015年9月まで
2. 開催頻度：2か月に1回程度（検討期間1年、30周年事業の準備期間1年）

協会設立趣意の原点を踏まえつつ、新しい時代に対応すべく、当協会のさらなる成長と発展を現実のものとし、課せられた使命を果たして参りたい。

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

2013年度事業計画に従い、当法人の事業、ア研究助成事業、イ学術会議開催事業、ウ医療協力事業、エ広報事業は、ほぼ計画通り実施された。詳細は附属明細書に記した。

重要な成果

- ① 日本財団－中国国家衛生和計画生育委員会による「日中笹川医学協力プロジェクト協定書」が締結され（2013年5月17日）、5年間に亘る研究助成・医療協力事業が確定した。これに従い、日中医学協会－笹川医学奨学金進修生同学会は「日中笹川医学協力プロジェクト実施要綱」等の附属協定書を締結した。
- ② 経済産業省の受託事業「医療機器・サービス国際化推進事業」において、日本企業との以下の事業を実施し、高い評価を得た。詳細は附属明細書に記した。
 - イ) 日中医療機器審査交流会
 - ロ) 日中医療関係者交流会特に、日中医療関係者交流会においては、初めての試みとして、日本企業と笹川医学奨学金進修生同学会との交流を行い、大盛会であった。

計画の未達

- ① 研究助成事業：中国人医師・研究者招聘事業（日中関係の影響により未実施）
- ② 学術会議開催：日中医学交流会議（経済産業省受託事業で実施予定であったが、事業採択されなかったため、未実施）
- ③ 医療協力事業：日中乳幼児栄養交流（前年度に続き、日中関係の影響により中止）。

会計別	予算額 円	決算額 円	達成率 %
公益会計	174,077,023	148,369,593	85.2
法人会計	11,242,000	12,047,157	107.2

(2) 資金調達等の状況

主な事業収益 ①日本財団助成金 88,160 千円
②経済産業省事業受託金 12,000 千円

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

区 分	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
経常収益	239,362,924	222,822,223	231,985,701	160,416,750
評価損益等調整前 当期経常増減額	7,284,910	11,193,971	13,406,519	86,040
当期経常増減額	7,284,910	11,193,971	13,406,519	86,040
正味財産期末残高	319,981,917	331,175,888	344,582,407	344,668,447

(4) 主要な事業内容

事 業	主な事業の内容
研究助成	①日中笹川医学奨学金制度 ・第3次第35期生, 30名, 8月30日帰国。 ・第4次第36期生, 2014年度来日の8名を選抜(内、2名辞退)。 ②共同研究等助成事業 ・日中共同研究助成6件 ・若手在留中国人研究者助成2件
学術会議開催	①日中笹川医学協力プロジェクト:学術交流会(共催) ②2013年度医学生のための漢方医学セミナー(後援) ③第1回日中東方栄養管理学術フォーラム(後援)
医療協力	①笹川医学奨学金進修生同学会事業 ・中国国内研修事業:中国辺境地域等在住医師の育成 ・ボランティア診療 ・学術交流会 ②経済産業省の医療国際化に係わる事業 ・日中医療機器審査交流会 ・日中医療関係者交流会 ・日中医療交流協議会 ③専門家派遣 ・笹川医学奨学金進修生同学会事業への派遣5件 ・中日友好病院への派遣1件 ④医療関連訪日者招請事業 ・医療関連訪日団招請:中山大学附属腫瘍医院訪日団等6件 ・中国人医療関係者招請:中日友好医院派遣医師等5件 ⑤訪中団派遣1件(第4回伝統医学視察団)
広 報	①機関誌『日中医学』の発行(第28巻1~4号) ②『NEWS LETTER』の発行(No.30~No.32) ③中国医学・医療機関への機関誌『日中医学』のメール配信

(5) 会員に関する事項

種 類	前年度末 名	当年度末 名	増 減 %
名誉会員	7 名	7 名	0 %
個人会員	497 名	471 名	▲5.2 %
法人会員	72 社	67 社	▲6.9 %
特別会員	3 社	3 社	0 %

(6) 職員に関する事項

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	本田 伸吾	2012年5月1日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局次長	岡田 光子	2013年4月1日	事務局事務の管理・運営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人
職員	末原 珠生 太田 晶子		事務局事務(事業全般)	
嘱託職員	3 名		事務局事務	

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2013.04.01	公益第1回(第56回)理事会 2013年度事業計画(案)の件 2013年度収支予算(案)の件 副会長、顧問の選任の件 委員会の設置及び委員の選出の件 委員会規程等の件 事務局の設置及び委嘱の件 事務局運営に係わる管理規程等の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2013.05.16	公益第2回(第57回)理事会 2012年度事業報告について 2012年度決算報告について 公益第1回(第56回)定時評議員会の招集について 基本財産の指定について 諸規程の制定について 協会設立30周年事業について 日中笹川医学協力プロジェクト及びその他医療協力事業運営委員会委員の補充について	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

2014. 01. 23	公益第 3 回（第 58 回）理事会（決議省略） 理事の辞任に伴う補欠選任の件	全員一致可決
2014. 03. 14	公益第 4 回（第 59 回）理事会 2014 年度事業計画（案）の件 2014 年度収支予算（案）の件 副会長の選任の件 会員規程の変更の件 常任理事会運営規則の件 情報公開及び個人情報の保護に関する規則の件 委員会の改廃及び名称変更の件 委員会委員の選任及び任期の件 委員会規程及び細則の変更の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

② 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2013. 06. 13	公益第 1 回（第 56 回）定時評議員会 <u>決議事項</u> 2012 年度計算書類等（決算報告）の承認の件 評議員、理事の補充選任の件 諸規程（評議員会運営規則）の制定の件 <u>報告事項</u> 2012 年度事業報告の内容報告の件 2013 年度事業計画、収支予算の内容報告の件 理事の職務執行状況の報告の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2014. 02. 12	公益第 2 回（第 57 回）評議員会（決議省略） 理事の辞任に伴う補欠選任の件	全員一致可決

(8) 許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日	備考
該当事項なし			

(9) 対処すべき課題

「中国人医師・研究者招聘事業」、経済産業省の「医療の国際化に係わる事業」、「医療関連訪日者招請事業」から発展的に派生する事業への対応。

対処方針

日中医学協会のあり方検討委員会において、財政基盤の確立、協会のミッション・ビジョン、組織の運営管理の観点から、求められる事業分野の検討を進める。

具体的な事業の成案を得て、中国側カウンターパートとの協議（協定締結）を経て、中国に拠点（「日中医学医療協力推進機構（仮称）」）を設置してこのテーブル上で諸事業を進める。協定締結までは協議に一年程度を要すると思われるので、合意に至った事業から実施に移す。

必要に応じ、公益財団法人の「認定変更申請」または「変更届出」を行う。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
会長	森岡 恭彦	2015. 3. 31	非常勤	48 千円	
理事長	安達 勇	〃	〃	48 千円	
副会長・理事	高久 史磨	〃	〃	24 千円	日本医学会会長
業務執行理事	江藤 一洋	〃	〃	48 千円	
	酒谷 薫	〃	〃	48 千円	
	田平 武	〃	〃	24 千円	
	林 謙治	〃	〃	36 千円	
理事	池谷 田鶴子	〃	〃	36 千円	
	大柳 治正	〃	〃	36 千円	
	小川 秀興	〃	〃	—	順天堂大学理事長
	尾身 茂	〃	〃	12 千円	年金・健康保険福祉施設整理機構理事長
	木村 政之	〃	〃	36 千円	日本製薬団体連合会理事長
	近藤 達也	〃	〃	24 千円	医薬品医療機器総合機構理事長
	篠崎 英夫	〃	〃	36 千円	日本公衆衛生協会理事長
	橋本 敬太郎	〃	〃	36 千円	
	日比 紀文	〃	〃	12 千円	
	平岡 眞寛	〃	〃	36 千円	
	星合 昊	〃	〃	24 千円	
	松原 謙二	〃	〃	—	
	武藤 徹一郎	〃	〃	36 千円	
森山 紀之	〃	〃	36 千円		

注) 報酬等は理事会等の出席手当

(2) 監事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
監事	金井 淨	2015. 3. 31	非常勤	48 千円	
	杉本 恒明	〃	〃	36 千円	

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
評議員	池田 裕	2017. 3. 31	非常勤	12 千円	
	石井 正三	〃	〃	—	
	石館 光三	〃	〃	12 千円	
	一戸 達也	〃	〃	12 千円	
	稲葉 裕	〃	〃	12 千円	
	緒方 剛	〃	〃	12 千円	
	金井 隆典	〃	〃	12 千円	
	黒川 顕	〃	〃	12 千円	
	洪 愛子	〃	〃	—	
	庄田 隆	〃	〃	12 千円	第一三共株式会社代表取締役会長
	杉山 清	〃	〃	12 千円	
	曾根 智史	〃	〃	12 千円	
	高橋 和久	〃	〃	12 千円	
	高松 研	〃	〃	—	
	寺本 明	〃	〃	—	
	中島 信也	〃	〃	12 千円	
	根本 則道	〃	〃	12 千円	
	範 江林	〃	〃	12 千円	
	藤原 英憲	〃	〃	12 千円	
	山口 建	〃	〃	12 千円	静岡県立静岡がんセンター 総長
山田 陽城	〃	〃	12 千円		

(4) 退任した役員等

氏名	退任時の地位	退任日	退任理由
羽生田 俊	理事	2013. 12. 9	辞任

任期中の報酬等 12 千円

(5) 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	21 名	648 千円	理事会等の出席手当
監事	2 名	84 千円	〃
評議員	21 名	204 千円	評議員会の出席手当

2013 年度事業報告書
公益財団法人日中医学協会
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2014 年 5 月 12 日
発行人 安達 勇

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3 住泉KMビル 6 階